

V 健全化判断比率の分析

県内市町村の健全化判断比率のうち、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率について、比率における分子・分母の構成要素を詳しく分析する。

1. 連結実質赤字比率

連結実質赤字比率が発生した石巻市における各会計の実質収支額（病院事業会計においては、資金不足額・剰余額）は、以下のとおりである。

石巻市における4.6百万円の連結実質赤字額は、老人保健医療特別会計の実質赤字額21.1百万円及び病院事業会計の資金不足額717百万円の合計が、他の会計における黒字額の合計を上回っていることにより発生している。

この連結実質赤字額の標準財政規模に対する割合である連結実質赤字比率は0.01%である。

(千円)

石巻市		連結実質赤字額	4,653	標準財政規模	40,633,464	連結実質赤字比率	0.01%
一般会計等							
一般会計	361,224	土地取得特別会計	0	診療所事業特別会計	0	おしかホエールランド事業特別会計	0
公営事業会計							
国民健康保険事業特別会計	277,468	老人保健医療特別会計	△ 21,100	介護保険事業特別会計	94,295	駐車場事業特別会計	0
後期高齢者医療特別会計	839						
公営企業会計							
病院事業会計	△ 717,379	水産物地方卸売市場事業特別会計	0	下水道事業特別会計	0	漁業集落排水事業特別会計	0
農業集落排水事業特別会計	0	浄化槽整備事業特別会計	0				